

2021年度プログラム

審査員 ワガママSDGs

鶴田宏樹氏（神戸大学パリュースクール 准教授）

供のわがままを大人が叶える。そんな甘やかしがアントレプレナーシップ教育なのか。私はそんな考え方違いをしていた。

「子供たちが自分達のわがままを実現する」これが、ワガママSDGsの本質であった。自分を内省し「したいこと」を、言語化し仲間と共に共有する。そして、社会に与える価値を考えて実践しようとする。そこで、様々な学校の中学生・高校生が活き活きとプロジェクトを回す姿を目の当たりにして驚いた。

ここには、自らが持つ「期待」から「価値」を生み出す経験をするという教育的意義、そ

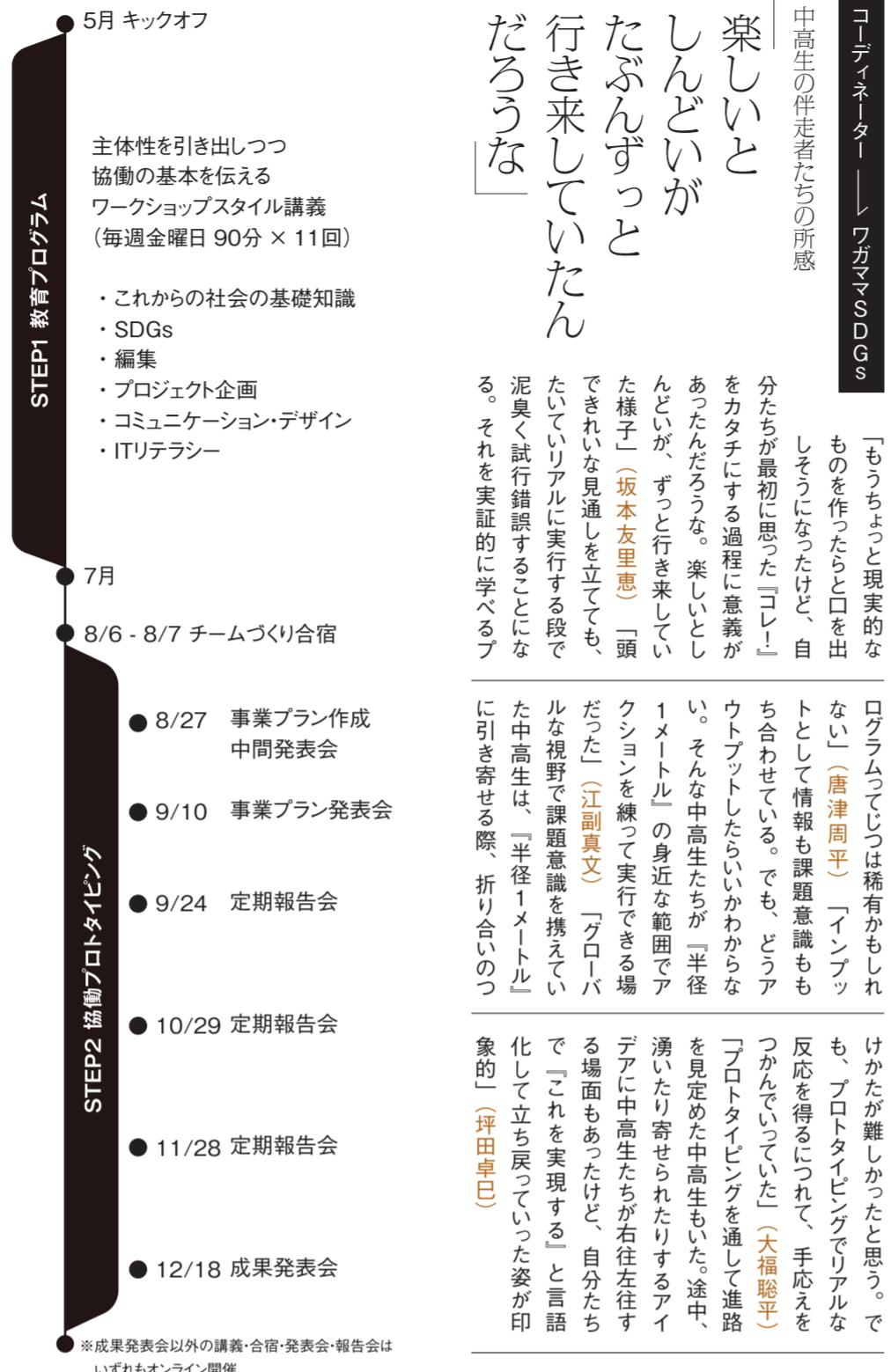
して、地域に存在する様々なステークホルダーが巻き込まれ、あたかも地域社会の変革につながっていくという社会的意義があった。日本の教育も現在詰め込み型教育から、自由な発想や社会問題への関心を促す教育の形へと変わろうとしている。その状況の中で、ワガママSDGsはそのフロンティアとなる試みかもしれない。

今後の社会変革への強い意気込みが運営者にあることを感じ取ることができ、教育を通じて社会構造が変わっていくことを予感させる素晴らしい事例である。

西田哲也氏（エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（兼株式会社 阪急阪神百貨店） 経営企画室 サステナビリティ推進部長）

「中高生のために」という貢献発想ではなく、「一緒に」という共創発想で取り組むと何か新しいことが生まれる予感がし、ワクワクしました。今回参画された中高生に「ワクワクさせてくれてありがとう」と伝えたいです。

そして今回参画したこと、もう一つ嬉しいことがありました。それは一緒に参画した社員の「心の持ち方」が大きく変化したことです。自分がしている仕事が社内に



楽しいと
しんどいが
たぶんずっと
行き来して
だらうな

「もうちょっと現実的な
ものを作つたらと口を出
しそうになつたけど、自
分たちが最初に思った『コレ！』
をカタチにする過程に意義が
あつたんだろうな。楽しいとし
んないが、ずっと行き来してい
た様子」（坂本友里恵）「頭
できれいな見通しを立てても
たいてリアルに実行する段で
泥臭く試行錯誤することにな
る。それを実証的に学べるブ
くことを予感させる素晴らしい
事例である。

「プログラマつづじは稀有かもしない」（唐津周平）「インプットとして情報も課題意識ももち合わせている。でも、どうア
ウトプットしたらいいかわからな
い。そんな中高生たちが『半径
1メートル』の身近な範囲でア
クションを練って実行できる場
所があった」（江副真丈）「グローバ
ルな視野で課題意識を携えてい
た中高生は、『半径1メートル』
に引き寄せる際、折り合いのつ
象的」（坪田卓巳）

※成果発表会以外の講義・合宿・発表会・報告会はいずれもオンライン開催

<後援>



<助成>



<協賛>



<審査員>

吉田幸司氏（審査委員長）
株式会社自然エネルギー市民ファンド 代表取締役
弁護士

嶋田康平氏
日本財団 経営企画広報部
ソーシャルインベーション推進チーム

宮崎光世氏
兵庫大学 現代ビジネス学部 教授
神戸市CDO補佐官

鶴田宏樹氏
神戸大学パリュースクール 准教授

西田哲也氏
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
(兼株式会社 阪急阪神百貨店)
経営企画室 サステナビリティ推進部長



一般社団法人リベルタ学舎
〒650-0033 神戸市中央区江戸町100番6F コミューン99
TEL : 078-599-9381 E-mail : jibun@lgaku.com

ワガママSDGs
<https://wagamama-sdgs.com>

中高生がSDGsを考える・実践する

ワガママSDGs

REPORT 2021

中高生 × 地域（企業・行政・大学・金融機関・NPO団体）

中高生が自分事として発見した社会課題の解決——ワガママの実現を協働して「試作（プロトタイピング）」するSDGs実証プロジェクトです。



「海外の貧困を救いたい」
「災害現場で役に立つかも」と、
「人のため」につながる可能性が
出てきたとき、すごいと思った。
（あいか・高2）

わたしの「どこでも充電したい」
「災害現場で役に立つかも」と、
「人のため」につながる可能性が
出てきたとき、すごいと思った。
（るな・中1）

「海外の貧困を救いたい」
「災害現場で役に立つかも」と、
「人のため」につながる可能性が
出てきたとき、すごいと思った。
（ま一ちゃん・高3）

「海外の貧困を救いたい」
「災害現場で役に立つかも」と、
「人のため」につながる可能性が
出てきたとき、すごいと思った。
（ゆう・高1）

人がつながる場所をつくつたけど、
ぼく自身が人や地域と
つながれたのがもしいれない。
（ゆう・高1）

英語の勉強は、苦手で大嫌い。
海外の同世代との意見交換なんて、
自分に叶えられると思わなかつた。
（ゆう・高1）

ワガママは言つたもの勝ち。
叶える難しさも、
諦めなかつたから拓ける道も
肌で学んだ。（ジャクス・高1）

わたしのネクストワガママは、
パーソナルモビリティを
ほんとうに実現するチカラを
身につけること。（ゆいゆい・高2）

